

# (参考) 2020年度下期 トピックス

・リリース情報など

# 2020年度下期 トピックス一覧



リリース日	内容	補足参照	
2020	10.09	・創立70周年	
	11.16	・UPGRADE Plant based kitchen 期間限定で東京初上陸	
	11.19	・日本 I R 協議会 I R 優良企業特別賞 受賞	
	12.08	・CDPより森林、気候変動、水セキュリティについて「トリプルA」評価を獲得	■ サステナビリティ ①
	12.18	・『消費者志向経営優良事例 消費者庁長官表彰（特別枠）』受賞	■ サステナビリティ ③
2021	01.13	・責任あるパーム油調達方針 進捗レポート	■ サステナビリティ ⑤
	01.22	・代表取締役の異動（社長交代）に関するお知らせ	
	02.01	・新技術ブランドMIRACORE™の立ち上げ	■ 技術・PBFS ①
	02.05	・組織改定・人事異動のお知らせ	
	02.09	・CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価の「リーダーボード」に選出	■ サステナビリティ ②
	02.12	・「第23回 日経アニュアルリポートアワード」で優秀賞を受賞	
	02.25	・GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」に選定	
	03.04	・「Plant Based Lifestyle Lab」の設立（設立は3月1日）	■ 技術・PBFS ②
	03.04	・「健康経営優良法人2021 大規模法人部門（ホワイト500）」に認定	■ サステナビリティ ④
	03.11	・シアナッツのサステナビリティ・プログラム「Tebma-Kandu」に関するお知らせ	■ サステナビリティ ⑦
	03.18	・取締役候補者および監査役候補者に関するお知らせ・執行役員人事のお知らせ	
	03.22	・クロスアポイントメント制度を活用した新たな産学連携推進モデルを始動	■ 技術・PBFS ③
2021年度	04.02	・サプライヤー行動規範の策定による持続可能な開発への取り組み強化	■ サステナビリティ ⑥
	04.07	・オランダのフードテック特化型大手ファンドへの出資	■ 技術・PBFS ④
	04.22	・One Tree Plantedとの契約によるガーナ西部への10万本の植樹	■ サステナビリティ ⑧

## ■サステナビリティ\_外部評価

### ①CDPより森林、気候変動、水セキュリティについて「トリプルA」評価を獲得

- ・ CDPの「Aリスト」に選定され、コーポレートサステナビリティにおける先進企業として認定
- ・ 2020年度「トリプルA」評価は世界5,800社強の回答のうち計10社（日本初、2社）



### ②CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価の「リーダーボード」に選出

- ・ CDPの「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価である「リーダーボード」に選出
- ・ 「サプライヤー・エンゲージメント評価」は、気候変動問題に対する企業のサプライチェーンへの働きかけを評価し、企業間連携を促進する指標
- ・ 2020年度 5,640社が評価され、「リーダーボード」選出は上位7%（約400社）



### ③消費者庁主催「消費者志向経営優良事例 消費者庁長官表彰（特別枠）」受賞

- ・ 最終ユーザーである消費者の意見を収集する仕組みの構築や、フードテック分野のスタートアップ等との共創により、消費者を見据えている点などが評価され受賞



### ④「健康経営優良法人2021 大規模法人部門（ホワイト500）」

- ・ 経済産業省及び日本健康会議による健康経営優良法人制度
- ・ 4年連続の認定



## ■ サステナブル\_パーム油のサステナブル調達進捗

### ⑤ 責任あるパーム油取り組み状況について [https://www.fujioilholdings.com/news/2021/\\_icsFiles/afieldfile/2021/01/13/Responsiblepalmoilsourcingpolicyprogressreport\\_j.pdf](https://www.fujioilholdings.com/news/2021/_icsFiles/afieldfile/2021/01/13/Responsiblepalmoilsourcingpolicyprogressreport_j.pdf)

- ・ 当社は、「責任あるパーム油調達方針」に沿ったグループの取り組みの進捗について半年ごとにHPで開示
- ・ 2021年1月13日、2020年1月～6月の進捗状況について、進展のあった下記の項目についてご説明

項目	進捗概要
① トレーサビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 搾油工場までのトレーサビリティ（TTM）100%を維持</li> </ul>
② グリーバンスメカニズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年4月、より効果的にグリーンバンズに対応するためにグリーンバンズプロジェクター（苦情処理手順書）を見直し</li> </ul>
③ パルマジュ社の サプライチェーン改善活動	<p><b>NDPE の自己評価とモニタリングのためのプラットフォーム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2018～2019年でパルマジュ社および間接サプライヤーの搾油工場と農園の計48社が自己評価ツールに関するワークショップに参加し、当社とエンゲージメントを実施</li> </ul> <p><b>“搾取ゼロ”コミットメント実践のための1対1のエンゲージメント（労働環境改善プログラム(LTP)）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要サプライヤーへの1対1でのエンゲージメントを強化</li> <li>・ パルマジュ社では、主要な企業との労働環境改善プログラム（LTP）エンゲージメントを計画（LTPプログラム…雇用契約、賃金・労働時間、苦情処理メカニズム、移動の自由、結社の自由、移民労働者の採用プロセス、安全衛生、適切な宿舍の提供等、特定の搾取リスクに対処）</li> </ul> <p><b>“森林破壊ゼロ”コミットメント実践のための1対1のエンゲージメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年も、農園までのトレーサビリティのより良いプロセスを構築するという目標達成に向け、搾油工場レベルでの森林破壊ゼロのためのエンゲージメントに集中的に取り組み</li> </ul>
④ APT ランドスケープ イニシアチブ (インドネシア スマトラ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 優先的な改善エリアのためのイニシアチブ（Areal Prioritas Transformasi : APT）に2018年より参画</li> <li>・ 2020年度上期には、対象地域における自治体と関連機関に、同地域の持続可能性の自己評価を提示、対象地域における2万本の種子と苗木の配布、300名の農家へのトレーニングを継続</li> <li>・ 対象地域の森林破壊の減少傾向を確認</li> </ul>

## ■ サステナブル\_サプライヤー行動規範策定・その他進捗

### ⑥ サプライヤー行動規範の策定による持続可能な開発への取り組み強化

- ・ 2021年4月、サプライヤー行動規範を策定
- ・ 人権、食の安全・品質、環境保全、誠実で公正なビジネス、リスクマネジメントを含めた一連の原則の順守とともに、本行動規範の違反を特定し改善するための予防策および救済策を講じることを全てのサプライヤーに求めるもの。児童労働と強制労働を排除する方針の明文化、環境への負の影響を軽減するための協力依頼などが、本行動規範の中に含まれる。
- ・ 本行動規範によって、サプライヤーとの継続的かつ積極的な対話を促進し、当社グループが調達する製品やサービスが、人権と環境に配慮し、責任が明確な方法で製造されていることの確認をすすめる



(和文 全7ページ)

[https://www.fujioilholdings.com/news/2021/\\_icsFiles/afieldfile/2021/04/02/\\_1\\_SupplierCodeofConduct.pdf](https://www.fujioilholdings.com/news/2021/_icsFiles/afieldfile/2021/04/02/_1_SupplierCodeofConduct.pdf)

### ⑦ シアナッツのサステナビリティ・プログラム「Tebma-Kandu」

- ・ グループ会社のフジ オイル ガーナを通じてガーナ北部の16の女性協同組合とシアナッツのサステナビリティ・プログラム「Tebma-Kandu」を立ち上げ、基本合意書に署名を実施
- ・ 合意書には、フジ オイル ガーナが協同組合から一定数量のシアカーネル（シアナッツ）を一定の品質で調達し、収穫期開始前に事前融資を提供するという内容が盛り込まれ、これらの基本合意書はガーナ北部の女性約20,000人に恩恵をもたらす見込み。



### ⑧ One Tree Plantedとの契約によるガーナ西部への10万本の植樹

- ・ カカオ生産地であるガーナ西部に10万本の植樹を行うことをNPOのOne Tree Plantedと契約
- ・ 2020年6月に当社グループが公表したカカオのサステナブル調達コミットメントの一環として実施



## ■ 技術・PBFS

### ① 新技術ブランドMIRACORE™

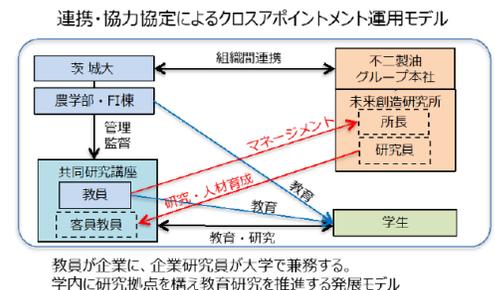
- ・植物のちからで、動物性ならではのおいしさや満足感を実現する技術「MIRACORE（ミラコア）™」を開発。植物性食品をより一層おいしくするソリューションの展開を進める。
- ・コンセプト「植物のちからでみんなにやさしく、ずっとおいしいを叶える食のコア技術」

### ② 「Plant Based Lifestyle Lab」の設立

- ・株式会社パソナグループ、カゴメ株式会社、不二製油グループ本社 株式会社が、他12社と連携し植物性食品を取り入れた新しいライフスタイルの普及・啓発と植物性食品の活用を通じた持続可能な社会の実現を目的に、任意団体『Plant Based Lifestyle Lab』を設立（2021年3月1日）
- ・主な活動内容
  - 会員企業と大学・官公庁等との産官学連携による、植物性食品に関する認知度向上の取り組みなど
  - 会員企業の共創による植物性食品を使った新商品の共同研究・開発など
  - 農業・美容・医療・観光・教育・環境など、様々な分野と組み合わせた価値創造など
  - 企業担当者や生活者向けの、植物性食品に関する専門家のセミナーの開催など

### ③ クロスアポイントメント制度を活用した新たな産学連携推進モデルを始動

- ・国立大学法人茨城大学とのクロスアポイントメント制度\*を活用した連携講座の運用を4月より開始
- \*研究者が他大学、公的研究機関、企業等の他機関との組織間の取り決めに基づき、一定の勤務割合の下で、各組織における役割分担や指揮命令系統に従いつつ、研究・開発および教育等の業務のうち、研究に関する一部業務を他機関での活動従事を可能にする制度



### ④ オランダのフードテック特化型大手ファンドへの出資

- ・オランダに設立する子会社を通じ、フードテック特化型の手先ファンドであるUNOVIS NCAP二号ファンドに出資する事を決定。海外でのPBFS（Plant-based Food Solutions）を加速。